

第1回 村上第一中学校・村上東中学校統合推進委員会

令和7年9月30日(火) 19:00~20:30 生涯学習推進センター 中会議室

参集者：PTA保護者6名・学校運営協議会2名・中学校校長、教頭4名・区長2名・教育委員1名 合計15名

(開会)

(教育委員会遠藤教育長挨拶)

(委員自己紹介)

(議事)

(1) 委員長、副委員長の選任について

市教委 それでは次第の4の議題に移ります。議題1の委員長、副委員長の選任について、先程説明させていただきましたとおり、委員の中から正副委員長を選任いただきたいと思っております。自薦、他薦どちらでもよろしいかと思っておりますが、どなたかいかがでしょうか。いらっしゃらないようですが、どのように決めたらよろしいでしょうか。

推進委員 事務局に一任します。

市教委 事務局としては、学校や地域との連携の面から、また学校統合に一番密接に関係する子どもたちの保護者の方をお願いしたいと考えております。その中でも、両校のPTA会長に、委員長には統合後に使用する学校を熟知している村上東中学校の渡辺PTA会長に、副委員長には村上第一中学校の高橋PTA会長をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

推進委員 (拍手)

市教委 ありがとうございます。それでは、委員長、副委員長に決まりましたお二人は、前の席へご移動をお願いいたします。それではお二人から、一言ずつご挨拶をお願いいたします。

委員長 委員長を務めさせていただきます村上東中学校のPTA会長の渡辺です。幾分不慣れではございますが、皆様のご協力のもと務めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

副委員長 副委員長に選任いただきました村上第一中学校PTA会長の高橋でございます。委員会の議事進行をスムーズにいきますように委員長をサポートして参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします

市教委 ありがとうございます。それではこれからの議事進行については、委員長にお願いしたいと思います。

(2) 統合形態の確認について

委員長 これより事務局に代わりまして私が進行をさせていただきます。それでは議題2の統合形態の確認について、事務局から説明願います。

市教委 村上第一中学校、村上東中学校としましては、昨年8月30日に第1回の合同統合検討会を開催、以降、12月18日までに第4回を開催し、様々なご意見をいただきながら合意を得たところです。その内容につきまして、この委員会で決定していただきたいと思えます。1点目は、統合で使用する校舎は「村上東中学校」とする。2点目は、統合の形態については、両校が一旦閉校して新たな学校とする、いわゆる新設統合、対等統合とする。3点目は、統合の時期は令和10年4月とする。この3点についてご協議をお願いいたします。

委員長 はい、それでは1点目からお願いします。使用する校舎は村上東中学校ということよろしいでしょうか。

推進委員 異議なし

委員長 異議なしでよろしいでしょうか。では1点目、使用する校舎は村上東中学校ということで進めていきたいと思えます。次に2点目、統合の形態については、両校が一旦閉校して新たな学校とするということよろしいでしょうか。

推進委員 異議なし

委員長 では、異議なしという言葉がありましたのでよろしいでしょうか。最後に3点目、統合の時期は令和10年4月ということよろしいでしょうか。

推進委員 異議なし

委員長 異議なしということなので、ありがとうございます。以上3点について決定されました。

(3) 統合推進委員会の組織体制及び今後のスケジュールについて

委員長 続きまして議題3の統合推進委員会の組織体制及び今後のスケジュールについて事務局から説明願います。

市教委 はい。お手元の資料、A3縦長の資料をご覧いただきたいと思えますが、すみません、このページとその次のページ、大変字が細かくてご迷惑をおかけいたします。以後気をつけますので、大変申し訳ありませんでした。上の方に組織体制(案)と書いてあるものをご覧いただきたいと思えます。左上の方に統合推進委員会とありますが、こちらが皆様をお願いしているこの委員会になりまして、学校統

合に係る諸課題の検討・協議を行う決定機関となります。中央に大きくありますが二校会議で、その名のとおり各校で教育課程やPTA組織、庶務的なことを検討いただく機関となります。なお、この表の左側、PTA部会につきましては、先生方だけではなく、PTAの方にもご協力いただくことになると思いますので、その際はどうぞよろしく願いいたします。そして、各部会からあがってきた事項について最終的には校長部会で決裁し、重要事項についてはこの推進委員会で承認するという流れになります。続きまして今後のスケジュールですが、1枚はぐっていただきまして、上に準備日程（案）と書かれているものになります。現段階では不確定な部分も多いものですから、例えば左から2番目の項目、この統合推進委員会第1回は一番上に記載ありますが、2回目以降、日にちも空欄でしたり議題も仮定で入れさせていただいております。また、その隣の運営部会以降は、組織体制にありました二校会議の運営部会と、あと専門部会の中で教育課程関係と庶務関係にざっくり分けて、それぞれの予定を落としております。流れとしましては、教育課程関係部会及び庶務関係部会で原案作成されたものを運営部会で検討・修正し校長部会へ、そしてもしこの統合推進委員会が、本日もそうですが、月の下旬頃設定させていただいたら当月の案件をそこで承認いただくという流れでできるかなと考えております。そこで次回の日程なのですが、次の委員会を10月の下旬くらいに行えればと考えております。最初に申し上げましたとおり、進んでいくにつれ状況が大分変わっていくと思いますので、現時点で、ということでお諮りしたいと思います。私からは以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。それではこれらのことについてご意見、ご質問等ございますでしょうか。

推進委員 準備日程を見ているわけですが、統合推進委員会、運営部会と各部会があるわけですが、それぞれのところでそれぞれ役割分担があってそれをこなしていくというふうな形になっています。例えば統合推進委員会のところで、運営部会とか教育課程関係部会、庶務関係部会の報告みたいなものはあるのでしょうか。

市教委 おっしゃるとおり、組織体制のところでもそれぞれ各部会から順番に原案が、運営部会、そして校長部会と、二校会議の決裁機関であります校長部会で原案の決裁をいただいて、そこがどれだけの項目を統合推進委員会にあげるかというのはありますけれども、例えば統合推進委員会の下の検討項目と書いてあります重要事項につきましては、統合推進委員会で承認を受けるものと考えております。

推進委員 実際中身の役割分担を見ますと、運営部会、教育課程関係部会、庶務関係部会はそれぞれ専門的な事項になりますので、当然この場で中身を議論するということはほとんどないのではと思いますけれども、例えば今運営部会の方ではこの程度のところまで進捗してますと、そういう報告等はあるのかどうかということなんです。

市教委　　もちろん校長が二校会議、校長先生や教頭先生も入っていただいておりますし、この統合推進委員会の委員でもございますので、二校会議で決定した事項について、統合推進委員会で皆さんに知っておいていただいた方がいい事項についてはその判断でもってこの場で報告いただくということで考えております。

推進委員　　1点確認なんですけれども、準備日程の表の中の真ん中の列、教育課程関係部会ってというのがこの組織図ではどこにもその名前がないんですけども、A部会、B部会と書いてあるのがそれに相当するのでしょうか。

市教委　　おっしゃるとおりです。この部分が準備日程の教育課程関係部会のところに当たります、この部分が庶務関係部会に当たりますと具体的には分けづらい、関係する部分もあると思うんですけども、基本的にこの組織体制の項目を教育課程と庶務で分けたものを振り分けたとご理解いただければと思います。

推進委員　　それがA部会では知・体・他となっていますけれども、そういうふうなものB部会の徳というふうに分かれるということですね。

市教委　　はい。

推進委員　　確認なんですけど、統合推進委員会は全部で10回となっておりますが、今のような他の部会の報告やらこちらでの話し合いの進捗状況によっては、この回数が10回から増えたりも減ったりもすると考えてよろしいですか。

市教委　　この10回というのは、どうしても10回開かなければいけないというわけではなくて、前回の平成31年の統合時の実績ですとかそこらへんを参考に、だいたい8回くらい行っていたという記録があったものですから、多いとこのくらい開く可能性もあるということです。おっしゃるように、例えばこの中で議事がもっとコンパクトになったりしていくと回数も変わってくるということになります。これが増える可能性もあるということで、このスケジュールでは最後の第10回が令和9年1月となっておりますが、事務局としてはこのぐらいの段階までに検討事項は全て決定して、あと統合前1年は、例えば学校の方で実際決められたことがうまく試行できるのかといったことですか、あと、両校の交流に当てられるというスケジュールであれば一番理想的なんですけれども、そこは流動的だということでお答えさせていただきます。

推進委員　　先程の委員からの質問は、教育課程関係部会はA部会とかB部会なのかっていう話なんですけども、この一番最後の長細いところの一番上に「教育課程関係部会（二校会議）」となっているので、私はその上のA Bとかの上のところの二校会議がそれに当たるのかなと。それでその隣の「運営部会」というのが、その校長部会からずっと下にあるPTA部会やそこが運営部会になるのかなというふうに私は理解したんですけども、それでよかったのでしょうか。

市教委 その理解で大丈夫です。

推進委員 すみません。昔履いたわらじの関係なんですけども、神納小学校が統合するときには増築等の大きな改修等もあったので、施設部会という部会があって、そこで施設の内容について議論したっていう経緯があるんですけども、その施設に関する要望等々の集約という部分に関しては、こちらの統合推進委員会で要望として取りまとめて決定するというような位置付けでよろしいでしょうか。

市教委 貴重なご意見ありがとうございます。この統合推進委員会の検討項目に、校名、校歌、校章、校旗、通学方法等その他重要事項とございますが、もちろん重要事項に入ってくるものと思いますし、今回、その前回の統合の組織体制と大きく変わっている部分がありまして、前はまたみんな同じ形ではなかったわけですけども、もっと細かい部会があったところもあると思います。ただ、そうすると、学校の方で結局その部会が多く兼務される部分も多くなって、そうすると逆に大変になるという意見も出たこともありました。ですので、極力その部会と言いますか、二校会議ということでもとめた中で進めていこうという考え方で今回提案をさせていただきました。その施設整備につきましては、もちろん教育委員会の方の管轄になりますので、この二校会議でのご意見ですとか、あと直接この統合推進委員会で、それ以外でも学校とやり取りさせていただきながら、必要な整備は進めていくということで考えております。

委員長 それでは、今お話があった組織体制とスケジュールを基に進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。はい、賛成の意見がありましたので、このスケジュールと組織体制で進めていきたいと思います。

(4) 学校名の決め方について

委員長 続きまして、議題4の学校名の決め方について事務局から説明願います。

市教委 では、学校名の決め方についてですが、今年度この統合推進委員会を進めているところが他に2つございまして、1つは朝日地区の小川小学校と朝日みどり小学校、そしてもう1つが岩船中学校と神林中学校となります。参考にそちらの状況を最初にお伝えさせていただきたいと思います。小川小学校と朝日みどり小学校につきましては、皆さんご承知の方もいらっしゃるかもしれませんが、統合後の学校名はあさひ小学校ということで決まりまして、今日、まさに議会最終日ということで承認をいただいたところです。小川小とみどり小につきましては、朝日みどり小学校の複式解消ということで、その県への申請の期限が9月いっぱいというリミットがあったものですから、そういった事情を委員の皆さんにもお伝えした上で、第1回の統合推進委員会で委員の皆さんにお諮りして、あさひ小学校ということで決めさせていただきました。そして、岩船中学校と神林中学校につきましては、現在第2回まで統合推進委員会は進んでいるんですけども、校名の募集を行いました。こちら、応募期間が9月8日から9月22日までということで、在校生、もちろん

地区の皆さんに周知した上で校名を募集して、現在は締め切って、来週、第3回の統合推進委員会で決定できたらということで考えております。ただ、これにつきましては、募集して一番多かった名前にするというものではございませんで、その応募いただいた中から統合推進委員会の委員の皆さんに決定いただくということで考えております。そのようなことを踏まえまして、この当推進委員会で、新しい学校の校名をどのような方法で決めたらよろしいかということ、委員の皆さんからご意見をお聞きできればと思います。私の方から以上です。

委員長 それでは、学校名の決め方についてご意見、ご質問等はございますか。

推進委員 校名の募集、岩船中学校と神林中学校でありますけども、募集の範囲が、どれぐらいの枚数を配ったのか、対象ですね。それから、現在のところ回収中ですよ、だいたいどれぐらいの回収数になっているのか分かる範囲でお願いします。

市教委 対象の範囲につきましては、岩船中学校区、神林中学校区在住の方、そして岩船中学校、神林中学校職員の方ということで、もちろん子どもたちに対してもテトルで呼びかけておりますし、地区の方にも要項を配布して募集しております。実際締め切ったわけですが、すみません、実際今何件最終的に集まったかということのをちょっと把握しておりませんでした。申し訳ございません。

推進委員 確認ですけど、そうすると、岩船中学校区、神林中学校区に在住している方は1件1件ですね。はい。それから、職員ですので、在校している職員全員、それから生徒全員ですね。はい。保護者は生徒に含む、それとも地域の中に含むんですか。

市教委 そこが難しいところなんですけども、こちらとしては応募してほしいのは児童生徒の意見なわけですが、そこで家庭としてどういった意見があがってくるかということまではっきりと分からない。基本的には、保護者の方にはその地区の方としてあげていただきたいというふうな思いではあります。

推進委員 岩船中学校とか神林中学校の様子は分かったんですが、逆にあさひ小学校はあさひ小という名前にしたのは、やっぱり同じ手順でアンケートを取ったりして決めたものでしょうか。それとも推進委員会で話し合っただけで決めたものか、ちょっと教えてください。

市教委 朝日地区については特に募集ということはしておりませんでした。それで、先程お話ししたように、統合の進行を急いでいたということもありまして、実際その合同の検討会での意見でもそういった事情をお話した際に、もう校名はあさひ小学校しかないよねっていうような意見も多々あったものですから、その第1回の統合推進委員会で、前回そういう話もございましたがという話の流れから、そこで決めて

いただければと。あさひ小学校という校名もそうですし、漢字かひらがなかというところもお諮りして決めたという次第です。

推進委員 確認ですが、要するにそれぞれの地区の推進委員会で話し合っ、その決め方を、今そのお話をするんですが、そういうふうに、自由、自由っていうのも変ですが、それぞれの地区の推進委員会の考え方で良いと捉えていいでしょうか。

市教委 今お伝えした今年度統合推進委員会が始まった2つについては、おっしゃるとおりそれぞれ校名の決め方を決めていただいたということです。

推進委員 先程のアンケートの件ですけど、アンケートを提出する場合には記名ですか、それとも無記名ですか、どちらだったですか。私であれば、私という人間はこういう中学校名にしますという、そういう意思表示みたいな、その記名すると。名前を書かなかったのか、書いたのか。

市教委 基本的にはお一人1点という応募要件があったものですから、そこをチェックするというか、そういった意味もあってお名前は記入いただいていたんですけども。ただ、実際あがってきた校名案に対して推進委員会で決めていただく際は、そこはもちろん伏せた状態で決めていただく。あくまで校名案と校名の理由はお示し、お示しした中で決めていただくということで考えております。

推進委員 まず確認しますが、私はまず自分の、私の名前書きますね。それから、学校名はこういう名前にしたい、その校名にした理由はこれこれこういう意味を込めていますと、その2つを書くんですね。

市教委 はい。その校名案と校名の理由でもって、委員の皆さんに決めていただくということで考えております。

推進委員 アンケートが来ます。それで、きっとかなりの枚数が来ると思うんですけど、それを全部この統合推進委員会のところに出して決めてくださいというのではなくて、ある程度こう何点か絞りますよね。その絞り方というのはどういうふうにするんですか。

市教委 これまでの統合では、アンケートで募集したときは全てあげていたと記憶しております。何票、そういう候補があろうが。あくまでも冒頭に説明したとおり、数ではございません。こういう理由でこういう校名をあげました。それに対して推進委員の皆さんがどうご判断されますかっていうことで、それでこの推進委員会の中で、例えば10個くらい校名があがってきたとして、2つに絞るとか3つに絞るとかで検討していたようなことが多かったと記憶しております。

推進委員 今程の話を聞いた限りでは、でしたらアンケートは必要なんじゃないかな。

市教委 アンケートをしていた統合推進委員会もございましたし、今回の小川小・朝日みどり小のように、そういうことはしないような学校の推進委員会もございましたので、もしこの場で、いや、皆さんで決めればいけないかなとなれば、それはそれでももちろん結構です。

推進委員 ジャあ、あくまで参考にするためにアンケートを取ったと。

市教委 はい、そうです。参考です。

推進委員 そのアンケートに出てこなかった校名もあがってくるという可能性もありますね。

市教委 そうですね。あくまで例えばですけども、そういった応募はなかったけれども、2つ応募があったものを、推進委員会の方でこの2つをくっつければより良い名前になるんじゃないかっていう案が選ばれる可能性もあります。

推進委員 また別案が出る可能性もあるわけですね。

市教委 そのとおりです。

推進委員 ですから、あくまでも参考であると。

市教委 そのとおりです。

推進委員 質問ではなくて、今のお話を聞きながら、アンケートが必要かどうかというのと、この推進会議ではそんなにアンケートではなくて、まずこの中でこんなのがあがるんじゃないかみたいなことを出した上で、そこでもう決められるようであればそれでいけると思うし、そういう案が出たんだけどもどうだっていうことを聞くアンケートのような形になるかもしれませんし、まずアンケートありきではなくて、ここの推進委員会の皆さんの思いや願いに、こういろいろ出してもらった方がいいかななんて今思ったんですが。

市教委 今委員言われたように、この推進委員会でこんな案が出た、それについてどう思いますかという聞き方はこれまでしていなかったと記憶しております。

推進委員 それこそ昨年度、統合形態の方にもかなり紛糾したわけなんですけども、多分、委員おっしゃりたいこととして、多分ここで検討した上で、それで例えばどうしても紛糾してしまったらっていうふうな、次のステップとか、そういうふうな意味合いでお話をされているのかなというふうに思いました。昨年度の会議のときもあつたわけですが、この皆様方が、それぞれの学校代表ということで役職に就かれた方がこう集まってきて、その中ですでにPTA会長さん、副会長さんとか、学校の役員、区長様等々、委任された皆様方ですので、その皆様方からご意見出していただ

いて、それでも紛糾するようであれば、地域の皆さんにまた意見があるのか、そういうふうな流れをまた言われてるのかなというふうに思いました。

市教委 ありがとうございます。どういう方法だと一番スムーズに行くのかというのはあるかと思うんですけども、事務局としましては、この委員会で、順番はあるかと思うんですけども、こういう決め方で決定すればいいんじゃないかっていうご意見をいただいた上で組み立てていくということがいいのかなとは思ったんですけども、逆に具体的に出していただいた中からっていう組み立て方、どちらがスムーズに行くのかっていうのもあって、こちらとしましてはそういったことも含めて、まだご発言いただいてない方からもいろいろご意見聞かせていただければなと考えております。

委員長 スケジュール的に、そのアンケートとかを取れるスケジュールなのか、それともさっきの朝日みたいにもう時間がないからここで決めちゃいましょうっていうスケジュール期間になっちゃうのか、いつ頃まで決めなきゃいけないとかあるんですか。

市教委 先程申し上げました岩船中学校と神林中学校につきましては、繰り返しになりますが応募期間は9月8日から9月22日ということで、2週間ぐらいですかね。最初にこの要項を作成して応募期間を取って、実際決定するまで1か月ちょっとぐらいなのかなと思います。その1か月ちょっと校名を決めるのにかかるからといって、10年4月に間に合わないということは、こちら事務局としてはそこまでの影響はないのかなというふうには考えているんですけども。実際この統合推進委員会でもってのアンケート、おそらく対象がだいぶ広がると思います。そうなった時にどんな案が出てくるかとか、その集計に対しても、1か月ちょっとと言いましたけども、その量によってはもっとかかる可能性も出てくるなと思ったんですけども。そういったところも踏まえて、アンケートを実際行うのかということと、あと、この委員会の中で決めていただくのかと、そういったところでの判断については、こちらとしてもどちらの選択がよろしいのかということにはちょっと悩ましいところかなと考えております。

市教委 岩船中学校、神林中学校は、結局、令和9年の4月統合予定でしたけれども、諸々の事情で、アンケートの件もあるのかもしれませんが、教育課程とか、そこちょっと時間がかかるよということで、結局1年伸びてしまいました。令和10年、この統合と同じ時期の統合にずれました。ずれたということで、その今ある学校で卒業するのか、新しい学校で卒業するのかという、たった1年の違いですけども、そういうことに不信感を持たれたり疑問を持たれたりした保護者がおりましたので、それぞれの小学校でもう説明会をして、申し訳ありませんが1年ずれましたということをご説明いたしました。その上で了解していただいております。今、こちらの両校の件については、これからもしアンケートを始めて校名を決めていくとしても、まあ

大丈夫じゃないかなとは思っております。ただ、本当に、先程のあさひ小学校の例ですけれども、あさひ小学校以外にあり得ないというふうな、そういうおおむねの、朝日さくら小学校っていう学校があるんですけれども、そこも含めても、もう二段階の統合で、あさひ小学校だとみんな了解してくれるだろうという前提のもとで、アンケートは取らずにあさひ小学校と、そちらの方でさせていただきました。ただし、ひらがなで。要はこの委員会が全て責任持たないとだめですので、それぞれの保護者、地域にも、これでどうだっということ自信を持って決定してお出しできればそれでいいと思いますので、初めからアンケートにまず頼むという方法もございませうし、もうこの委員会で決定するという方法もあるかと思っておりますので、それをまずご判断していただかなければならないんじゃないかと思っております。時間的には間に合うと思っております。

委員長 ありがとうございます。では、整理しますと、委員会で決めてしまうということ、アンケートを取って候補をあげてもらおうというパターンが2つ出ています。

市教委 いずれにしても、最後は多数決でした。

委員長 はい。あと、もし他にもこんな方法がというのがあれば。

推進委員 はい。今のままの流れだと、アンケートを取るのか、ここで決めるのかって二者択一の感じで話が進んでいるかなと思ったので、ちょっとここで話をさせていただけようかなと思います。一番大切なのは子どもたちなので、子どもたちにとってどんな学校を作りたい、どんな学校だったらいいんだろう、そういうふうなところから話が進まない、学校名ありきで物事進めても、おそらく途中で頓挫してしまうような気がしてなりません。私、学校の教員なので学校のことしか分からないんですけれども、今教育長が言ったように、本来、岩船中学校とか神林中学校は2年後の開校を目指してたんですが、今回1年遅れたわけです。おそらく、これでアンケートを取ってどうのっていうふうにやり始めていると、私は3年で物事が進まないんじゃないかなというふうに思っています。というのも、我々学校の教員は、普段の業務に加えてこれだけの業務をこなしていかなければなりません。うちの学校で言えば55年の歴史がありますけれども、考えてみれば半世紀に1回の仕事をさせられるわけです。普段の仕事に加えてそれだけの仕事をこなすっていうのは、我々残業手当が出ない教職員にとってはかなり過酷なんです。ご存じの方もいるかは分かりませんが、今教員って3年同じ学校にいると転勤希望出していいんですよ。そうすると、こんなめんどくせえこと言われたくねえなって思えばですよ、転勤してしまいます。また新しい人に来てもらえばいいっていう発想もあるんでしょうけれども、できれば今の実態、今の学校の子どもたちの実態、地域のことをよく知っている人たちにできる限り残ってもらって仕事を進めていくのが、おそらく今後入ってくる子どもたちにとっても一番いい学校をつくれる大事なのかというふうに思っています。そういうふうに考えるとですね、できる限り労力をかけなくてもいいところはかけ

ず、できる限り子どもたちのために労力をかけるべきところにかけていった方がいいのかなと思います。そうすると、私も統合検討委員会のときに同じ話をしたんですけども、うちの学校としては校舎を選ぶことができませんでした。校舎を選ぶことができなかったのはもう老朽化が激しいからです。村上市の財政状況のことも考えると、とてもわがままがいえるような状況ではありませんでした。そうすれば今ある立派な東中学校の校舎でというふうにするのが自然の流れでした。ただ何回も同じことを言うつもりもないので、前に同じ話をしましたけども、うちの学校の生徒のことも考えてほしいです。そうするとうちの学校の生徒は学校も変わります。学校名も変わります。校歌も変わります。体操着や制服なんかはこの際に変えてしまおうというふうな発想もあるかもしれませんが、全部変わります。できれば変わらないような方がいいのかなと。そして村上の中心、旧村上市内にある中学校なわけですから、神林の方は神林中学校の方に校舎はなるということですので旧神林村にできるわけですけども、ここは村上という地名はやはり残した方がいいんじゃないかなと。そうすると村上中学校になるのか、村上東中学校になるのか、村上第一中学校になるのか、多分この3つぐらいの選択の中で決めることになるのかなと思うんです。ご存知かどうか分からないんですけども、校歌一つ変えて、子どもたちにおっきい声で歌わせるようにするためにどんな努力が必要なのか、簡単に校歌くらい歌えるようになるだろうと思うかもしれませんが、ここに音楽の先生もいますが、入って来てすぐ中学生の思春期の時期に大きい声で校歌を歌うことすらなかなか難しい状況の中で、校歌が変わるっていうのもかなり難しいのかなと。なので私は、うちの学校のことだけを考えればですね、うちの生徒のことも考慮していただいて、村上第一中学校で校歌も変えず校長も変えず、ただ体操着や制服だとかっていうふうなものは、私も村上東小学校に勤めたことがあるので、おそらく村上東中学校の制服は重い、もう30年近く変えてないし、うちの学校の制服、もう数年前に変えたばかりで軽いんですよ。真夏でも着ててもそんなでもないぐらい。ズボンも結構薄い、東学校の夏用のズボンと冬用のズボンも多分あったと思うんですけども、この際にどっちの制服というのもないんですけど、そんなふうな労力をかけなくてもいいところは労力かけず、むしろかけた方がいいものについて、例えば修学旅行の時期一つとっても違いがあるんです。東中学校は大体2年生の3月には、村上第一中学校は2年生の3月でやってたんですけど、ここ何年間かは、5、6年ぐらいは3年生の4月にやってると。例えばこんなことを一つとってもですね、3年前から決めてるものなので、ものすごく時間が要するというだけでは知っていただきたいなという、私からの要望です。

推進委員 今校長先生がおっしゃったこの統合に関わる校歌を決める労力とか大変なものだということは、もう最初の集まりからすごく思っていて、今職員で持ってる仕事を日々目の前の生徒のためにこなすので百パーセント使っていて、この統合の仕事ですね、校歌、校章、校名、これが加わったときに、今在校している生徒の教育活動が本当に保証されるのかどうか、保証しなきゃいけないんですけど。おっしゃると

おり全て正論であるので、何一つ私は違いますよという考えは全くないですね。村上第一中学校の制服が採用されるかについては校長二人で決めることじゃないので、皆さんからのご意見を、ここが機関でありますので、校名も校章も校歌も全て皆さんの意見によるものではありますけれども、今おっしゃった内容、学校の中の労力をどこに向けるかということについては全くおっしゃるとおりです。できたら校長教頭だけじゃなくて、新たな教員が統合の対策のための主幹教諭とかっていう役職ありますけれども、それは県の人事のことなので、希望でしかないんですけど、何とか現在現有勢力の労力が損なわれないような措置は学校としても要望はしたいと思っています。

推進委員　私はいこの間統合しました平林小学校の学区の者です。旧砂山小学校なんですけど、そこは砂山小学校、平林小学校両校閉めて砂山小学校に来たわけなんですけど、名前は平林小学校となっています。地域の者からすれば、両校閉めたとか、片方吸収合併だとかそこまで詳しいことはあんまり知らなかったんですけど、地域住民としては、もともと砂山小学校は平林第二小学校というふうな名称でしたので、やっぱり平林村だったところですので、それを考えると砂山小学校として残って平林っていう名前が消えるっていうのはなかなか地域の人からしても難しいかなと単純に思っていました。先程校長が村上第一中学校の名前なんていう話をさせてもらいましたけど、当然東中を使われて、例えば全く校舎、校歌、校章とか全部同じだったら、村上東中学校にすればもうすべて残るし、すべて労力は消えるかと思うんです。それはそれでまた1つの案だとは思いますが、校舎は東中で、名前とか校歌とか校章とか、一中の名前を使っただけだとありがたいかなといったところもありますし。先程労力という話しましたが、実際にいろんなものを変えとなるとそれだけお金がかかります。校舎は21億というとんでもない金額なので、真ん中に綺麗なもの建てようか、それはお金があれば理想かもしれませんがそんなふうにはいかない。村上市今そんなにお金に余裕があるわけでもございません。そうした中で校歌、校章、少なくとも何百万単位はかかるわけです。そんなとき、市がお金出すからというふうに簡単にはならないかなと思います。市のお金ではなく、私たちの市税ですよ。簡単ではありませんが何百万のお金を、例えば先程ありました施設の新しい改修。そっちに、といってもお金の名目は違うので財源の采配はあると思うんですけど、私はそういうのに使っただけの方が、子どもたちのためにお金を回してもらった方が、名前にかけるんじゃないかと。東中でもいいですし、東中にしてもらって東中の校舎の一部を改修しようか、バス1台買おうか、そういうふうにしてもらった方がいいんじゃないかと思いました。

推進委員　こういうことが初めてなのでとても勉強になりました。校長先生たちの話がすごく子どもたちのことをすごく考えてくださっているんだなと思ったので、私はその意見に賛成ですし、校長先生方、子どもたちの応援団でありたいなと思っていました。

推進委員　私もいろいろ皆さんのお話聞きながら、勝手に自分の持論を持ってるんですが、第一中学校、東中学校は、この前の段階の会議で一旦閉校しますと、名前ばお互いにないだろうなというふうな捉えになってるかと思うんです。ただ第一中学校第1回卒業生の私にとっては思いがありました。確かにさっき校長先生のお話の中に、1年間かけて今の第一中学校の校歌を覚えると、ただ校舎は三之町にあった校舎でした。瀬波小学校も自分たちで頑張ってるから一緒に卒業式のときは一緒なんだということで出会うということなんですが、それぐらいにして、よく意味が分からなかったけれども一生懸命歌ったという思いは残っています。だから子どもたちを大事にするっていうことは、何か子どもたちに感動を与えて、そして卒業してもらったり入学してもらおうと。そして学校在学中は感動した学校生活を送ってもらう。これがそれぞれ学校の先生方のお仕事でもあるし、地域の我々の仕事でもあるのかなと。私の同級生に何人かどっちも閉校になると、広報で流れてたんですけども、なったんだがどうすると。そしたら、同じ同級生の人たちはだったら村上中でいいじゃんっていう人が圧倒的に多かったんです。いわゆる村上中から村上第一中学校、そしてそこから東中が、それをぐるぐると戻って行けば村上中学校という名前が出て、山北は山北中、朝日は朝日中、神林は神林中、荒川は荒川中、関川は関川中、栗島は栗島中学校。みんなそれぞれ地区のシンボルの名前をしっかりと持って、下越の村上はこういう学校ですぐ分かるんだよっていうような、そんな形に今なっているかと思うんですね。だから村上中、どうしてもこれを一中と東中が難しいようであれば村上中がいいのかなと。校歌は、果たして私これわからないんですが、かつての校歌、団伊玖磨さんと大木惇夫さんが作詞作曲をしてすごい財産があるわけですよ。だからそんなような形のものが、ただ復活するとさっきの校長先生のお話のように、子どもたちにはまた負担がかかるのか。私の案としては村上中学校っていう名前がいいのかなというふうに思っています。

推進委員　今村上中学校という名前が出たんですけども、私は60年前に卒業してますので、村上中学校卒業の生徒となります。それは置いておいてアンケートの件なんですけど、地域の人の声を聴くということが大事なことではあるんじゃないかなと思うんですけど、かなりの枚数になりますよね。そして、回収もそれなりに来るとしたら相当のこの数　それをその集計しなければならぬ。結構バラエティにとんだ意見が出るんじゃないかなと私は思っています。私は今悩んでいます。本推進委員会である程度決めてからいった方がいいのか、まだどちらがいいのかなというのは決めかねています。ただ、やっぱり地域の人たちの学校への思いっていうのは、聞かなきゃならないんだらうなというのは思っています。なお、参考までになんですけど、60年前なんですけど、村上中学校、瀬波中学校、上海府中学校、山辺里中学校、大栗田中学校、そして岩船中学校があったんですけど、岩船中学校は村上市神林村組合立ってということで、2つの市町村が一緒になって組合を作って運営して、それは30年ぐらい前に村上市になった。そんな意味で、これから新しくなる学校は、岩船地域を除いた全部の地域の5つの、私のような年代の者にしてみれば

その5つの中学校が一緒になった学校だ、そんな思いがあるので内容を決めるのって難しいなと思って今この場にいるわけであります。

推進委員　　ちょっと質問なんですけど、小川小・朝日みどり小の推進委員会の方で決定されたということなんですけど、ちなみにこの校名につきましては、地域の方には公に周知したようなんでしょうか。それによって後から各地域から様々な意見とか出たのか、それによってはアンケートは取るべきだったんじゃないかなというふうな方法もあるのかなと、その辺いかがでしょうか。

市教委　　地域の方への周知につきましては、基本的には会議が終わりましたら、学校統合だよりということで地区の方にお配りする予定にはしており、朝日の方につきましてもそのように、ホームページも使いながらさせていただいております。それに対しての意見、例えば批判的な意見があったということも私は聞いておりません。

推進委員　　このような会議に参加させていただいてありがとうございます。歴史、伝統も大事なんですけど、これからの子どもたち、先程お話もありましたけど、最優先にしなきゃならないのかなと感じました。あと統合について、以前アンケートがあったかと思うんですけど、それらの回収率ってどれくらいだったのでしょうか。アンケートをやる意味があるのかなと。

市教委　　アンケートにつきましては、事あるごとにアンケートをとっているような状況でございまして、この整備計画を策定するために一番最初にとったアンケートは大変低く、18.9%ということになっていたんですけど、その後、保護者にはテトルを使わせさせていただくことによって回答率は相当高くなっております。

推進委員　　私も母校は山辺里中学校だったものですから、今は東中学校になってしまって、私の母校は今の山辺里小学校の近くですかね、あそこに山辺里中学校がありました。本当に寂しい思いはそのときありましたけども、でも今の子どもたちがより良い教育を受けられるのであれば、そっちの方がよかったかなと私は思っています。先程おっしゃられた校歌とか、その辺を含めてちょっと検討してもらっていただきたいと思います。

推進委員　　校長先生が話をした中で、引っ越していく一中の子どもたちの気持ちも考えて欲しいと。確かに寂しい、東中の子どもたち仲良くしてくれるかなとか、いろんな不安を持って入学していくと思うんですよね。だから、うちらがやってきたこの行事があるとか、うちらも一緒にやれることがあるとか、運動会の名前とか文化祭の名前とか、そういうものがこれからの部会の中で丁寧に話し合っていたきたいのが1つと、もう1つがこれは聞かないと分からないんですが、校章とか校旗というものは、校章の下の名前を変えるとか可能かどうかということと、あらかじめ作るのと同じくらい費用がかかるとか、そういうのをちょっと教えていただければと。

市教委 著作権がございまして、作ってくれた人に確認を取らないと簡単に手を加えるとかそういうことはできないと思います。

推進委員 逆に了解をいただければ使わせていただけるか。

市教委 そうなんじゃないでしょうかね。

推進委員 著作権も50年経てばなくなると聞きます。そうすると、おそらく50年はとくに過ぎてるとは思いますけど。

副委員長 皆さんこの場ですべてが決定してしまうっていうところに、大変プレッシャーがえられるかなとは思いますが、あくまでもここが決定機関でありますので、私としてみれば確かに地域の方々の意見を聞くっていうのはそれは丁寧かもしれませんが、皆さんが同じ意見を持っているというのはまずないという部分があります。統合の検討会で話をしたんですけども、どの校名にするかという部分。自分の卒業した校名に思い入れがあるっていうのはやっぱり当たり前の話であって、ただそれっていうのは大人の都合だけなんですよね。実際に学校の名前を今後引き継いで誇りを持っていくかっていうのは、これからの子どもたちなんだと私は思います。それが東中学校であろうが、村上第一中学校であろうが、これは子どもたちが作っていくことだと思いますので、両校長先生がおっしゃられたように、どちらかの学校の名前をこの場でどちらかを使うかっていうのをきちっと早めに決定していただいて、その中で次のステップに早めに進むっていうところが一番の子どもたちのより良い環境を作っていく近道というふうに思いますので、私としてみればアンケートという方法によらず、この場で一中なのか東中なのかどちらかの学校を決めるという部分をご提案したいと思います。

委員長 整理しますと、この委員会で決める方法でいいのか、それとも地域のアンケートを取った方がいいのかという2つの意見が出ていると思うんですが、どうでしょうか。決をとっていいですか。

市教委 本来であれば皆さん全員出席ということであればその場で了解いただいて多数決をとるといいんですが、本日お2人欠席ということで委任状もいただいていなかったんですけど、今回欠席された区長さん、一中区の区長さんと東中区の区長さんということで、今いらっしゃる皆さんそれでよろしいということでしたら、多数決をとっていただければと考えます。

副委員長 委員長、副委員長に関しては採決権はないですか。

市教委 そこは特に要綱でもうたわれていないんですが、そちらも一中区、東中区でありますので、客観的にということで、委員長、副委員長外した中で行っていただければと思います。

推進委員 確認だけさせていただきます。村上第一中学校、村上東中学校どちらがよいかというあれだと思んですが、これについて皆さんオッケーですよ。

委員長 この委員会で決めるか、アンケートをとるか今回の選択なんですよ。方法についての。

委員長 では挙手の方お願いします。推進委員会で決めた方がいいという方。（12名）アンケートをとった方がいいという方。（1名）

委員長 では推進委員会で決めるということによろしいでしょうか。ではそういうことで進めていきたいと思えます。

（5）その他

委員長 続きましてその他ということになりますが、これまでのことも含めて何かありますでしょうか。

推進委員 推進委員会で決めるということなんですが、次回の会議までにそれぞれの委員に宿題を与えて、ということか伺いたいですけど。

市教委 今統合推進委員会内で決めると了解いただいたわけですけど、おっしゃるとおり次回、次回で決まるかどうかはっていうのがありますが、進行をスムーズに進めていきたいなというのはあります。そこにつきましては事務局と委員長、学校で次回どのように進めていくか、例えば今ご意見出た具体的な村上第一中学校、村上東中学校、または村上中学校、あくまで案ですけど、その三校で多数決をとるとか、そういったことも含めて次回までに協議させていただきたいと思えます。そして、次回ご都合で欠席される方については委任状の提出をお願いできるよう考えていますので、よろしくお願いいたします。

市教委 今既存のこの村上第一中学校、村上東中学校どちらかの校名を使うとなれば、これまで合同検討委員会で、検討して両校が閉校するという事になってましたよね。すると多くのそこに参加していた皆さん、そしてそれを公表したので、市民の皆さんは両方なくなるんだろうなっていう思いがきつとございますよね。村上第一中学校という校名が残るだろうとか、東中学校が残るだろうなんてことは思っていないと思うんです。なので、今3校、村上中学校という校名も含めて3校出されましたけれども、この委員会で責任を持って市民の皆さんに、これこれこういう理由だから、例えば村上第一中学校に、推進委員会は決定したんだっていうことを責任持って伝えられるようにご判断いただければと思えます、事務局としては。それを次回まで、それぞれ意見をしっかり持っていただけないかなと思っております。

委員長 それでは本日の議題については以上となります。大変ありがとうございました。

市教委 渡辺委員長、高橋副委員長、大変ありがとうございました。

(閉会)

市教委 それでは閉会の挨拶を高橋副委員長よりお願いいたします。

副委員長 皆さん大変おつかれさまでした。皆様から様々な思いであるとか、忌憚ない意見をお出しただけかと思えます。先程教育長がおっしゃられていたように、この会で決定事項という部分について理論武装を今後していかないといけないということで、これも皆さんそれぞれの経験値からお知恵を拝借して、そういった部分のきちっと地域の方々が納得するような理由づけというか、裏付けをして今後会議の方進めてまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。今日はありがとうございました。